

2025年9月8日

ノムラフーズ、宇治市国道24号線沿道地区に冷凍食品新工場を建設 －現工場（京都市伏見区）から拡張移転－

当社100%子会社のノムラフーズ（取締役社長 長嶋茂、以下「ノムラフーズ」）は、新たに取得する予定の国道24号線沿道地区（宇治市安田町）の土地に冷凍食品工場を建設することとし、現工場を拡張移転することを決定いたしました。

ノムラフーズは、1978年に京都市伏見区にて創業し、京の伝統食ともいえる「京のおばんざい」作りを手掛け、1987年に他社に先駆けて「冷凍おせち」を開発し、本格的に冷凍惣菜製品の製造・販売を開始いたしました。京都ならではの素材のおいしさを生かした味づくりにこだわり、京都市内にも飲食店2店舗を構え、そのおいしさをご提供しております。

冷凍食品市場は、社会構造の変化等に伴い今後も伸長が見込まれておりますが、現工場は、稼働開始から38年が経過しており、生産能力や保管能力が限界に達し、ローコストオペレーションの構築および供給体制の増強が課題となっておりました。

新工場は、ノムラフーズが長年培ってきたノウハウに、最新の自動化・省人化技術を融合させるとともに、環境へも配慮した「次世代型冷凍食品工場」と位置付けており、いままでにないアイデアと技術により、新たな価値を提供してまいります。

<ノムラフーズ新工場の概要>

所在地	：	京都府宇治市安田町鵜飼田86番地1
敷地面積	：	約10,000㎡
総工費	：	約80億円
生産能力	：	1年あたり冷凍食品 18,000千食
生産品目	：	冷凍食品（おせち料理類、和惣菜類）
着工	：	2025年12月頃
稼働	：	2027年6月頃

新工場完成予定図（イメージ）



以上